

# 昭和平成令和を駆け抜けた護衛艦！ 護衛艦「あさぎり」艦艇広報



新潟地本（本部長 1陸佐 村岡史朗）は7月6日（土）・7日（日）の両日、新潟西港において第14護衛隊所属護衛艦「あさぎり」（艦長 2海佐 松橋和哉）の艦艇広報を実施しました。

護衛艦「あさぎり」は現存する護衛艦の中で最も古く、対空戦・対潜戦等の幅広い任務に対応可能な汎用護衛艦です。同艦の新潟入港と、本イベントの周知をするためホームページやSNS、チラシを作成し告知した結果、艦内を見学できる特別見学の公募には過去に類を見ない6千名以上もの申し込みが殺到し、大きな反響を呼び注目を集めました。

当日は梅雨を吹き飛ばすかのような青空が広がり、艦を一目見ようと早くから大勢の来場者が列を作り見学開始を待ちわびました。来場者は両日合わせて約6300人にのぼり、新潟西港での艦艇広報では過去最高となりました。



特別見学では、普段は入ることができない艦橋や壁一面スイッチやボタンでいっぱいの機関科操縦室、対潜ヘリコプター等、乗組員の説明を受けながら艦内を回りました。見学者は「国を守る艦の心臓部ともいべき操縦室を見学できて感激です。」「長年に渡って運用されているとは思えないほど手入れが行き届いていて、きれいですね。」などの感想を語っていました。

募集ブースでは、広報官による自衛隊制度説明や現役防大生との懇談会が設けられ、対象者やその家族が熱心に話に耳を傾け、「直接お話することができて不安が解消されました。自衛官への憧れが益々強くなりました。」などの声がありました。

新潟地本は今後も艦艇広報を通じて、自衛隊に対する理解を深め志願者獲得に繋げていきます。





募集ブースでは、広報官による自衛隊制度説明や現役防大生との懇談会が設けられ、対象者やその家族が熱心に話に耳を傾け、「直接お話しすることができて不安が解消されました。自衛官への憧れが益々強くなりました。」などの声がありました。新潟地本は今後も艦艇広報を通じて、自衛隊に対する理解を深め志願者獲得に繋げていきます。